

- (1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手つきあみなが聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したしようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能くさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。

学習予定

学期	学習する単元の名称	主な学習内
前 期	想像を豊かにして「語り」をしよう ・風切るつばさ (書)毛筆の姿勢・学習の進め方 自分の考えを明確にしながら読もう ・イースター島にはなぜ森林がないのか (書)組み立て方(三つの部分)〈湖〉 物語が強く語りかけてきたことを考えながら読もう ・ばらの谷 (書)筆順と字形 〈成長〉 書き手のくふうを考えながら新聞の投書を読もう ・新聞の投書を読み比べよう 詩と短歌を味わおう ・いま始まる新しいいま (書)字配り(ひらがな)〈あこがれ〉	物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように、「語り」いろいろな表現の工夫を知り、表現の効果を考えて書く。 学習の進め方を考え、毛筆の姿勢や筆の持ち方について筆者の主張を読み取って、それに対する自分の考えを持理由や根拠を明確にして、聞き手の印象に残るように工夫 「湖」の三つの部分の組み立て方に注意して、毛筆で書く、いろいろな三つの部分の組み立て方を考えて書く。 物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、自分の言葉で 筆順と画の長さ、接し方を理解し、毛筆で書く。毛「成長」を確認する。 読み手を説得するための工夫を読み取る。 書く事柄を整理し、構成を考えた、意見文を書く。
	人物の生き方を考えながら読もう ・海のいのち (書)字配り 〈世界平和〉 「持続可能な社会」への取り組みについて調べよう ・未来に生かす自然のエネルギー (書)字形 (小筆) 〈俳句〉 資料を使って説明しよう ・深めよう、言葉の世界 戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう ・ヒロシマの歌 (書)書きぞめをしよう 〈伝統を守る〉 ふるさとの良さを文章で伝えよう ・ふるさとの良さをしょうかいしよう わたしたちの日本語について考えよう ・雨のいろいろ ・教え方でみがく日本語 (書)まとめ 〈未来の夢〉 未来に向かって ・君たちに伝えたいこと ・春に	物語に出てくる人物の関係をおさえ、物語が自分に最も強 る。 字間・行間、余白、行の中心に注意しながら、毛筆で、資料の示し方や具体例の挙げ方に注意して、筆者の意見 点画や、文字と文字のつながりを理解し、小筆で俳句を書資料を効果的に使って、分かりやすく説明する。 一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み これまで学習したことを生かして、書きぞめをする。 小筆の持ち方や使い方を確認し、名前を丁寧に書く。 目的に応じて書く事柄を集め、形式を選んでまとめる。 しょうかいしたいものの良さが効果的に伝わるように、工夫 人物の生き方を考えながら物語を読み、最も強く語りかけ 1年間学習したことを振り返り、毛筆や硬筆で身につけた文章と詩を読んで、自分の考えや思いを広げたり深めたり

評価の観点

授業への参加
文、ノート、ワー
元テスト、書写

- 国語科では、次の5つの観点で各学期ごとに評価します。
- ①学習に関心を持ち、進んで取り組もうとする。
 - ②目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどを的確に話し、相手の意図を考えながらができる。
 - ③目的や意図に応じて、考えたことなどを文章全体の構成を考えた文章に書くことができる。
 - ④学習のめあてや課題に沿って、内容や要旨を理解しながら読み取ることができる。

目手の意図を
こり聞いたり

能力を身に付



容

1)をする。

2)確認する。

3)つ。

4)して話す。

5)。「さんずい」の書き方を理解する。

6)でまとめる。

7)を整えて書くために必要な既習事項

8)読み味わう。

9)「大回り」の筆使いを理解する。

10)聞く語りかけてきたことについて考え

11)配りよく書く。

12)を読み取る。

13)く。

14)広げる。

15)して書く。

16)できたことを紹介し合う。

17)ことをまとめる。

18)する。

態度、提出物、発表、作
クシート、漢字テス、単
作品などを参考にして、

19)聞くこと

